



# 中央聖書神学校 Central Bible College

## CBC後援会だより

### 「神学生は私たちの教会・教団の捧げもの」

中央聖書神学校後援会

会長 峰田 将



先日、NHKのテレビを見ていて深い感動を覚えました。

それは昨年世界遺産に登録された長崎五島出身の神父を取材したお話でした。

その方は離島に住んでいたいわゆる潜伏キリシタンの末裔としては初めて神父になられた方でしたが、小さな島の教会では彼が神学校に入った時から懸命な祈りを繋いできたとのことでした。

自分の教会から献身した神学生に対して、「教会からの捧げもの」と称して教会員たちが懸命に祈り続けてきているという話です。特に島の婦人たちは毎日午後5時になると教会に集まり、その神学生のために祈り続けたという事です。

改めて私達CBC後援会にもこの精神が極めて大切であることを痛感させられました。

私達の群れの中から選ばれ、献身していく学生さんたちを、私たちの教会・教団からの捧げものとして神に祈りを捧げ続けていく精神がどれほど大切であるかを教えられました。

後援会会員一同の尊い献金と同時に、懸命な祈りが併せて捧げ続けられるよう努めてまいりたいと思います。

### 主のご用に仕えたい

中央聖書神学校後援会

会計 佐々木 功



私の所属するめぐみ福音キリスト教会は、14年前には単立でしたので、神学校といえば東神大か弟が卒業した聖契神学校しか頭に浮かびませんでした。

アッセンブリー教団に加盟し、教団が運営している中央聖書神学校を知りました。神学校は、教団の会計で成り立っていますがそのサポートのため後援会が作られ、牧師先生が主体に運営されてきました。

六年前に信徒が主体になり運営することとなりました。その時会長になられた峰田兄より会計に推薦され微力ながら今日まで務めさせていただいております。

CBC後援会が今後どのようにして、神学生のために貢献できるか、祈り、考えていきたいと思っています。今、日本のクリスチャン人口は伸び悩んでいます。アッセンブリー教団の信徒数は伸びています。その伸びている教団の一人ひとりの信徒が神学生に重荷を持つて祈り、献げていければと願っています。私達の教会に毎年神学生が派遣されています。司会やメッセージを通して交わりの時を持たせていただいています。これからも神学生のために、祈り献げていきます。

#### 予告

#### 2020年・年次総会

日時…2020年2月29日(土)

場所…中央聖書神学校チャペル

13時30分～14時20分

神学生の証と賛美

14時30分～15時30分

総会 事業報告・役員改選の件

15時30分～16時30分

茶話会(茶菓代500円)



## 神学校こそ、 教団の明日への礎

川尻キリスト教会

牧師 高口 喜美男



謝は尽きません。

しかし、昨今は、どの教団教派も神学校は「苦戦」しています。入学者の減少どころかゼロという話も耳にしています。それは神学校の問題以前に、フィールドというべき、献身者を送り出す諸教会の問題です。けれども、神学校に入るにあたっての妨げになっている諸要素をクリアするため、相当以前から教団、神学校ともに、検討を重ね、様々な支援制度を創り出してまいりました。

その一つが、学校運営や神学生の経済的な問題をカバーするための後援会の働きでした。このために、これまで、歴代の役員の方々は御苦労下さいましたが、その後、信徒の方々を中心とした後援会となり、現在に至っています。ご自分のお仕事や所属する教会の責任もおありでしょうに、実に、心からのアピールと、確かな組織運営をもって貢献しておられます。教団の将来は神学校にかかっていると云っても過言ではありません。教団の将来ヴィジョンの礎は神学校の充実です。そう思えば、祈るとともに、後援会のアピールに応えていきたいのです。

ちなみに、私が所属する九州教団は経済的には決して豊かではありませんが、「無い袖を振って」20数年前から基金を募り、教区内教会からの献身者に毎月2万円の支援を続けてきました。私の牧する教会も厳しい経済ですが、任意の「神学生支援献金」を続けて、教区と後援会に献げています。

教会には、教団内外から海外伝道、協力伝道、放送伝道、福祉団体等々からの献金依頼が「殺到」しています。私も地方中小教会の牧師として、牧会上の配慮をしつつ悩んでもいます。しかし、こういう献金への対応は、役員会や教会総会の決するところによるのですが、牧師先生の認識と決断によるところが大きいのではないのでしょうか。この一文を読んで下さっている先生方、私も同じためらいをもつ身です。しかし、神学校の維持と継続を、プライオリティ(優先順位)の上位に置いていただけないでしょうか。どうか、ゼロ回答でなく、金額の多寡を越えて、それぞれの教会の「祈りを込めたレプタ」をCBCのために、ともどもにお届けしようではありませんか。

昨年のCBCニュース表紙に「退任」直前と書かれた北野先生のお写真に、CBCのために、人生のすべてを注ぎ尽された献身の受肉を見、心を打たれました。そして、後援会のために、使命感をもって、まさに「献身して」おられる後援会の方々にも心を打たれています。

私は、後援会に「頼まれて」この一文を書いているものではありません。かねて思っていたことを書く機会を与えられただけです。先生方、諸教会の皆様、わたしたちのミニストリーの礎ともいうべきCBCを、自らの力の大小を越えて支援しているようではありませんか。

### CBCフェスタに協賛

CBC後援会は7月15日(月・海の日)、駒込の中央聖書神学校において持たれた、同校学生会が主催するCBCフェスタに協賛しました。

聖会の最後には、3年生大野和也神学生から後援会へのお礼の言葉と花束の恵贈がなされました。



花束の恵贈がなされました。



## 中央聖書神学校との出会い

中央聖書神学校後援会  
監事 三箇 孝政



18歳で洗礼を受けてからは、C  
Aや壮年部の働きに加わり、教会  
内外の集会には進んで参加しまし  
た。教団の聖会では必ず、献身者  
を募り多くの青年男女が講壇の前  
に出て献身の誓いをしていました。  
自分はその招きには答えられず辛  
い時間でしたが、牧師から「教会  
献身の道もある」と誘われて決心  
しました。それ以来、教会役員、  
教会学校教師等の奉仕を率先して  
携わってきました。

会社の仕事も神様からの使命で  
あるとの思いで専念し、充実した  
意義あるものと楽しく過ごしまし  
た。57歳で役職定年になり、それ  
を期に神学校の聴講生として関連  
会社で働きながら学ぶことに導か  
れました。

入学式の祈祷の中で「待ってい  
たよ」との威厳のある声が聞こえて  
「はっ」としました。若い時から神  
様の導きに答えられずにいた私に  
待つていてくれた主がいたことを。

すでに息子は献身して神学校に、妻  
と娘は神学校の聴講を終えて、私  
一人が残った状態でした。それか  
ら仕事の合間に九年間も夜間聴講  
生として通い、学びに励みました。  
熱心に教えてくれた講師の先生や  
共に学ぶ仲間と良い思い出も作れ  
ました。私と同じように諸聖会での  
献身を促されても答えられない方  
や講壇の前に献身の誓いをしても  
神学校へは今一歩足が進めない方  
が多くいると思います。心の中にい  
つも答えられない自分に負い目を  
感じてはいないでしょうか？

CBC後援会は、ただ会員を募集  
して会費を徴収し、必要とする神学  
生に奨学金を渡すだけの会ではな  
く、献身時の経済的不安など今一歩  
足が進めない問題を共に相談し合う  
場になればと思います。また、ご自  
分の体験を基にアドバイスできる仲  
間がたくさん集まってくれることを  
願っています。

## 神さまから与えられた役割

中央聖書神学校後援会  
副会長 松田 正



私は、1年前に体調不良から病  
院に行つたところ、前立腺がんだ  
と言われました。すでに肺や骨、  
リンパにも転移しステージIVだと  
医師から告げられました。また続  
けて「松田さん、正直に言うが、  
このままだと、あと2、3年しか持  
たないよ。家族にも説明したいの  
で、家族を呼んでください。」と言  
われました。医師がパニックを起  
こしていた様子で、医師からあと  
2、3年しか生きられない、と突然  
言われたので、受け入れられずポ  
カンとしていました。「すぐに入  
院して悪いところを取らないと。」  
と矢継ぎ早に言われました。その  
後、半月ほどみ言葉に立つて神さ  
まに祈り求め、神さまの憐み

によって癒されました。ハレルヤ！

しかし、彼は、私たちのそむき  
の罪のために刺し通され、私たち  
の咎のために砕かれた。彼への懲  
らしめが私たちに平安をもたら  
し、彼の打ち傷によって、私たち  
はいやされた。イザヤ書53：5

そこで、神さまの癒しに答えて、  
祈っていると、神さまから新たな  
示しを受け、神の国拡大のために  
生涯を捧げていこうと決心しまし  
た。私たちの神さまは、奇跡の神  
さまで、全地宇宙を創造され支配  
されている神さまです。今は真の  
神さまを信ずるものが、余りにも  
少ないことです。まるで、アハブ  
王のエリヤを思い出させます。

このような時代の中で、私に与  
えられた一つの働きが、CBC後  
援会の活動で、神学校での学ぶ環  
境を整えて、多くのリーダーにな  
る方々に学んでいただき、神の国  
拡大に大いに寄与したいと思いま  
す。そこに、私の生かされている  
意味合いがあるかと思えます。

## ろう者聖書学校卒業式で 卒業生に記念品贈呈

8月12〜14日、全国ろう者聖会が東京で開催されました。参加者が一緒に手話で賛美し、神様を礼拝する姿に励まされました。愉快的雰囲気、手話劇団の公演と交流の時間もあり、とても素晴らしい時間となりました。

またその中で、ろう者聖書学校の卒業式も行い、今年一名の卒業生を送りました。後援会から記念品を贈呈しました。感謝です。

## 後援会員募集中!

神学校の働きを支援する後援会では、奨学金授与、CBCフェスタ協賛、校舎清掃、などの事業を行っています。

この中で全国どこにいても参加できるのは、会費納入による奨学金支援です。是非会費を納めて会員になって下さい。

《2019年中央聖書神学校後援会会員会費納入状況》は下記の通りです。  
今年度の会費を12月末日までに納入のほどよろしく願います。

### 2019年中央聖書神学校後援会 会員 会費納入状況

(2019年1月〜10月末現在)

(単位:円)

|      | 計画    | 予算        | 実績    | 実績        | 会費計画比 |
|------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| 会員区分 | 会員数予定 | 会費収入予算    | 会員数   | 会費収入実績    | 計画比   |
| 法人会員 | 7社    | 300,000   | 6社    | 270,000   | 90%   |
| 教会会員 | 50教会  | 1,100,000 | 31教会  | 645,000   | 59%   |
| 個人会員 | 280名  | 1,800,000 | 182名  | 1,290,000 | 72%   |
| 賛助会員 | 50名   | 100,000   | 34名   | 51,000    | 51%   |
| 合計   | 387会員 | 3,300,000 | 253会員 | 2,256,000 | 68%   |

## CBC後援会のアピール

CBC後援会副会長

松田 正

東北聖会に出席する為、台風のことも考慮し、早めに仙台に行き、10月13日(日)午前は泉福音キリスト教会で聖日礼拝に出席させていただきました。その後、午後と14日(月)は、東北聖会に出席する予定でしたが、残念ながら聖会は台風の影響で中止となりました。

同教会は、娘が普段お世話になっている教会で、昨年、私が病気の癒しのために熱心に祈っていたが、癒されたことのお礼を申し上げたかったからです。いつも、娘は、帰ってくると同教会のすばらしさを、私に話してくれました。娘の言うとおり聖霊に満たされ、活気に満ちた教会を体感でき、感謝でした。

そこで、病気の癒されたことのお礼と証しの後に、CBC後援会のアピールをさせていただきますと牧師先生にお願いしたところ、快諾を得ましたので、7分程度行わせていただきました。礼拝での貴重な時間を割いてくださり、また信徒の皆さまが、熱心に聞き入って、直ちにレスポンスがあり、感謝しています。

## 一般献金に感謝します

今年も、神学校での学びと訓練、そしてその働きと恵みに感謝して、特別な思いを込めた献金が捧げられました。

会員の皆様の会費と合わせて、神学校への献金とさせていただきます。

## 信徒の皆様 に 寄稿のお願いです

後援会に対する希望・要望・提言・苦言・意見あるいは激励なんでも結構です、ハガキ、お手紙、Eメールなどで寄稿をお願い致します。

### 発行 中央聖書神学校後援会

所在地 〒170-0003

東京都豊島区駒込3-15-20

TEL 03-3918-4925

Fax 03-3918-4064

E-mail: cbc@agj.or.jp

編集 後援会委員会

印刷 ベーテルフोट印刷株

発行日 2019年11月30日